

1. 大会名称 平成30年度関東大学アイスホッケーリーグ戦
2. 主催 公益財団法人東京都アイスホッケー連盟
3. 協賛 茨城県アイスホッケー連盟・神奈川県アイスホッケー連盟・埼玉県アイスホッケー連盟
千葉県アイスホッケー連盟・栃木県アイスホッケー連盟・山梨県アイスホッケー連盟
4. 後援 公益財団法人日本アイスホッケー連盟・毎日新聞社・スポーツニッポン新聞社
5. 期間 平成30年9月1日(土)～12月9日(日)
6. 会場 ダイードリンコアイスアリーナ TEL 042-467-7171 〒202-0021 東京都西東京市東伏見3-1-25
東大和スケートセンター TEL 042-566-6898 〒207-0022 東京都東大和市桜が丘1-1330-19
7. 大会事務局 〒202-0021 東京都西東京市東伏見3-1-25
公益財団法人東京都アイスホッケー連盟 TEL 042-467-8282 FAX 042-468-2131
8. 参加資格・登録 ◆選手及び役員は、大会開始前日(平成30年8月31日)までに、平成30年度の公益財団法人日本アイスホッケー連盟登録完了済みである事。
大会開始以降の選手の追加登録は原則認めない。
◆選手登録人数が6名に満たなかったチームは、今大会に限り参加資格を失うものとする。
◆大学院生は参加資格を持たない。
9. 順位決定 勝ち点制により決定する。(Division Vの最終順位決定戦は除く)
10. 表彰式 平成30年11月25日(日) Division I-A・B・II 20時～(ダイードリンコアイスアリーナ)
平成30年12月8日(土) Division III～V 12時～(ダイードリンコアイスアリーナ)
- *チーム表彰
・Division I-A・I-B・II～Vまでの1位～3位チームを表彰する。
・フェアプレー賞は、Division I-Aより、全試合の反則総時間÷試合数が最小のチームを表彰する。
- *個人表彰
・Division I-A・I-B、II～Vまでの最優秀選手賞(1名)、と最多ポイント賞をそれぞれ表彰する。
・ベスト6賞はDivision I-A・I-Bグループから、それぞれ表彰する。
- ◆各チーム、キャプテンを含め5名以上参加し、ユニフォーム・チーム旗・スケートシューズを持参する事。
11. 保険の加入 大会参加チームは保険に加入し、保険証券または保険申込書(加入者がわかる明細込)のコピーを必ず提出する事。
(8月25日の代表者会議にて提出する事)
12. 入場料 一般 1,000円 高校生・中学生・小学生 500円
*但し、東大和スケートセンターでの試合は無料

13. 大会参加申込 指定様式に記載し、平成30年6月30日(土)迄に電子メールにて提出する。

14 大会費

参加費	・Division I - A	84,000円
	・Division I - B	62,000円
	・Division II	44,000円
	・Division III～V	42,000円
試合費	・Division I - A (上位)	57,500円 × 17 試合 = 977,500円
	・Division I - A (下位)	57,500円 × 14 試合 = 805,000円
	・Division I - B	57,500円 × 10 試合 = 575,000円
	・Division II	47,000円 × 7 試合 = 329,000円
	・Division III・IV	42,000円 7 試合 = 294,000円
	・Division V	42,000円 4 試合 = 168,000円
	・入れ替え戦	50,000円

支払期限
【厳守】

- ・大会参加費 平成30年9月7日(金)
 - ・試合費 平成30年10月22日(月)
 - ・順位決定戦・入替戦(1・2・3・4・5) 平成30年12月7日(金)
- ※振込口座名
銀行名 東京三協信用金庫 東伏見支店(店番号016)
口座名 公益財団法人 東京都アイスホッケー連盟
ザイ) トウキョウトアイスホッケーレンメイ
口座番号 0100388
預金種目 普通預金

◆ Division I - A グループ最終成績上位2チームが『第86回全日本アイスホッケー選手権大会』への出場権を得る。

1. 競技方法・競技時間

Division I -Group A

全チーム2回戦総当たりのホーム&アウェー方式による予選リーグ戦を行い、予選リーグ戦の結果により上位4チームと、5位から8位が決定し、上位4チームは最終順位決定リーグ戦を行う。
予選リーグ戦でのホームチームの設定は、1戦目がランキング下位チーム、2戦目がランキング上位チームをホームチームとする。
正規 20分×3ピリオド 練習 10分 休憩 12分

Division I -Group B

全チーム2回戦総当たりのホーム&アウェー方式によるリーグ戦を行う。
ホームチームの設定は、1戦目がランキング下位チーム、2戦目がランキング上位チームをホームチームとする。
正規 20分×3ピリオド 練習 10分 休憩 12分

Division II

全チーム1回戦総当たりによる予選リーグ戦を行い、予選リーグ戦の結果により上位3チーム、下位3チームが決定し、それぞれ最終順位決定リーグ戦を行う。
予選リーグ戦でのホームチームの設定は、ランキング上位チームをホームチームとする。
最終順位決定リーグ戦においては、予選リーグ戦成績上位チームをホームチームとする。
正規 15分×3ピリオド 練習 10分 休憩 1, 2ピリオド間5分、2, 3ピリオド間12分

Division III～IV

全チーム1回戦総当たりによるリーグ戦を行う。
ホームチームの設定は、ランキング上位チームをホームチームとする。
正規 15分×3ピリオド 練習 7分 休憩 1, 2ピリオド間5分、2, 3ピリオド間12分
*東大和スケートセンター開催の21時30分練習開始の試合は、練習終了後試合開始とする。

Division V

2つのグループに分け1回戦総当たりの予選リーグ戦を行い、最終順位決定戦を行う。
予選リーグ戦でのホームチームの設定は、ランキング上位チームをホームチームとする。
V₁グループ : ランキング 38・41・42・48
V₂グループ : ランキング 39・40・43・44
最終順位決定戦のホームチームの設定は、ランキング上位チームとする。
正規 15分×3ピリオド 練習 7分 休憩 1, 2ピリオド間5分、2, 3ピリオド間12分

- ※ Division I -GroupAの予選リーグ戦及び、GroupBのリーグ戦において、第3ピリオド終了時同点の場合、両チーム3名ずつのゲームウイニング・ショットにより勝敗を決定する。
さらに同点の場合はサドンヴィクトリー方式による両チーム1名ずつのタイブレーク・ショットにより勝敗を決定する。
但し、Division I -GroupAの最終順位決定リーグ戦で第3ピリオド終了時同点の場合は、3分間のインターバル後、3 on 3のサドンヴィクトリー方式による正味5分間の延長ピリオドを行い、勝敗を決定する。
尚且つ同点の場合は、両チーム3名ずつのゲームウイニング・ショットにより勝敗を決定する。
さらに同点の場合はサドンヴィクトリー方式による両チーム1名ずつのタイブレーク・ショットにより勝敗を決定する。
- ※ Division II、III、IV、Vのリーグ戦については第3ピリオド終了時同点の場合は、引き分け試合とする。
(Division Vの最終順位決定戦は、第3ピリオド終了時同点の場合は、両チーム3名ずつのゲームウイニング・ショットにより勝敗を決定する。
さらに同点の場合はサドンヴィクトリー方式による両チーム1名ずつのタイブレーク・ショットにより勝敗を決定する。)

※全てのDivisionにおいて、10点差以上の得点差がついた時点で、次のフェイスオフ以降のゲームタイムについては、ランニングタイムとする。

- ①点差が縮まった場合でも継続する。
- ②次の場合は時計を止めるものとする
 - a) 得点時には一時止めるが、電光掲示板入力後、直ちにスタートさせる。
 - b) 反則発生時には一旦止め、次のフェイスオフでスタートさせる。
- ③反則時間終了時にプレイが止まっていたら、その選手は次のフェイスオフでバックがドロップされるまでペナルティーベンチから出られない。

※ 順位決定は次のとおりとする

・ Division I - A・B

60分	GWS		60分
勝	勝	負	負
3	2	1	0

- ・ Division I - A (上位4チーム) : 予選リーグ戦での勝ち点に最終順位決定リーグ戦の勝ち点を加算して最終順位を決定する。
- ・ Division II～V
勝ち3点・引き分け1点・負け0点とする。
(Division II : 予選リーグ戦での勝ち点に、最終順位決定リーグ戦の勝ち点を加算して最終順位を決定する。
但し、予選リーグ戦で決定した上位と下位を移動する順位変動は行われない。)

- ① 勝点の多い順
- ② 当該校の対戦成績
- ③ 当該校同士の試合での得失点差の大なるもの
- ④ 当該校同士の総得点÷総失点の商の大なるもの
- ⑤ 全試合の得失点差の大なるもの
- ⑥ 全試合の総得点÷総失点の商の大なるもの
- ⑦ 全試合のペナルティタイム(分)の小なるもの
- ⑧ 平成30年度ランキング上位のもの

☆ Division I 順位決定ラウンド

Group Final Round (グループ ファイナル ラウンド)

7位 (Division I -A 7位) VS 10位 (Division I -B 2位)
8位 (Division I -A 8位) VS 9位 (Division I -B 1位)

ホームチームの設定は、ランキング上位チームをホームチームとする。

正規 20分×3ピリオド 練習 10分 休憩 12分

上記の試合で、第3ピリオド終了時同点の場合は、3分間のインターバル後、3 on 3のサドンヴィクトリー方式の5分間の延長ピリオドを行い勝敗を決する。

尚且つ同点の場合は、両チーム3名ずつのゲームウイニング・ショットにより勝敗を決定する。

さらに同点の場合はサドンヴィクトリー方式による、両チーム1名ずつのタイブレーク・ショットで勝敗を決定する。

☆ Division I -B・IIの入替について

13位 (Division I -B 5位) VS 16位 (Division II 2位)

14位 (Division I -B 6位) VS 15位 (Division II 1位)

ホームチームの設定は、ランキング上位チームをホームチームとする。

正規 20分×3ピリオド 練習 10分 休憩 12分

上記の試合で、第3ピリオド終了時同点の場合は、両チーム3名ずつのゲームウイニング・ショットにより勝敗を決定する。

さらに同点の場合はサドンヴィクトリー方式による両チーム1名ずつのタイブレーク・ショットで勝敗を決定する。

☆ Division 間の入替について

Play-Off Division Series

19位 (Division II 5位)	VS	22位 (Division III 2位)
27位 (Division III 7位)	VS	30位 (Division IV 2位)
35位 (Division IV 7位)	VS	38位 (Division V 2位)

ホームチームの設定は、ランキング上位チームをホームチームとする。

正規 15分×3ピリオド 練習 10分 休憩 1, 2ピリオド間5分、2, 3ピリオド間12分

上記の試合で、第3ピリオド終了時点の場合、両チーム3名ずつの

ゲームウイニング・ショットにより勝敗を決定する。さらに同点の場合はサドンビクトリー方式による

両チーム1名ずつのタイブレーク・ショットで勝敗を決定する。

自動昇格・降格

20位 (Division II 6位) 自動降格	⇔	21位 (Division III 1位) 自動昇格
28位 (Division III 8位) 自動降格	⇔	29位 (Division IV 1位) 自動昇格
36位 (Division IV 8位) 自動降格	⇔	37位 (Division V 1位) 自動昇格

2. 競技規則

公益財団法人東京都アイスホッケー連盟の定めるローカルルールを除いては、原則として国際競技規則及び

公益財団法人日本アイスホッケー連盟の定めるローカルルールによるものとする。

特に、以下の規則に関しては、徹底するものとする。

- 1) プレーヤーはバイザーまたはフルフェイスマスクの付いたヘルメットを着用しなければならない。
顎紐と顎の間のゆとりは指1本分のみとする。バイザーは鼻が全て覆われるものなければならない。
- 2) グローブ・ヘルメット以外の用具は完全にユニホームの下に着用し、ユニホームはパンツから出して着用するものとする。

3. 補助規則

- 1) 連盟未登録選手が出場した場合は、その試合に限り没収試合とし、不戦敗（スコアは0対15）とする。
- 2) オールメンバー表に記載されていない選手は試合に出場できない。
- 3) チームのすべてのプレイヤーは、同じ上着、パンツ、ストッキング、ヘルメットを着用しなければならない。
- 4) プレーヤーはマウスガードを着用しなければならない。
- 5) 選手の怪我防止の観点から、プレーヤーの用具やユニホームが正しく着用されているかを確認するため、以下の手順を定める。
①整列時、正しく着用されていないプレーヤーには、直ちに改善することを指示し、チームに警告を与えるものとする。
②試合開始後、用具やユニホームを正しく着用されていないプレーヤーに対してミスコンダクト・ペナルティを科す。
尚、これはレフェリーの判断によりペナルティを科すものであり、チームからのアピールプレーは一切受け付けられないものとする。
- 6) 練習中については、スーパーバイザーがヘルメットやストッキング等の防具を正しく着用するよう監督し、是正させる。
- 7) 試合の際に役員（監督・コーチ等）のうち1名は必ずベンチ入りする事（IDを着用しなければベンチ入りできない）。
- 8) ベンチには、GK 2名・プレーヤー 20名の計22名、役員6名までが入れる。尚、外国籍を有する選手は3名以内とする。
- 9) タイムアウトは各 Division の全試合で、各1回使用できるものとする。
- 10) オールメンバー表には、GK 1名を必ず記載する事。また、オールメンバー表は練習開始45分前までに必ず提出する事。（ドアマンも記入する）
- 11) 試合当日（試合開始時）試合を遂行するのに必要な最低人数（GK 1名とスケーター 5名）に満たないメンバーしか集まらないチームは、その試合を棄権したものとみなし、不戦敗（スコアは0対15）とする。
- 12) Division I、Division IIの各チームは2名（2年生以上）のレフェリー登録を義務づける。試合は必ず登録された者が担当する。
- 13) ホーム・ビジター制度は全ての Division の全試合において適用する。
ホームチームはプログラムに記載されている対戦カードの左側とする。
- 14) スティック及び用具の計測は、1試合につき各チームそれぞれ1回ずつ行えるものとする。
- 15) ピリオド終了時、両チームが同一通路を使用してリンクより控室に戻る場合、出入り口に近いベンチのチームから先に速やかに退場する。
その際、両チームが同時にならないよう、必ず一方から退場する事。

16) ベンチドアマンの取り扱い

①試合に出場しない選手登録をされている学生を2名以内、ベンチドアマンとして置くことができる。

この場合、オールメンバー表のスタッフ欄に記載する事。（但し、役員6名に含まれない）

②ベンチドアマンは、棄権防止のため必ずフルフェイス・マスクの付いたヘルメットの着用を義務付けるものとする。
試合前の整列時に、レフェリーがベンチドアマンの用具着用状態を確認し、正しい装備をしていない場合はその試合のベンチ入りを認めない。この場合、ペナルティ（ベンチマイナー）は科せられない。

17) 試合中、ベンチ内での写真撮影は禁止とする。

18) ベンチ入りする学生スタッフ（マネージャー・トレーナー）は危険防止のため必ずフルフェイス・マスクの付いたヘルメットの着用を義務付けるものとする。レフェリーは規定に違反している学生を発見した場合、チームスタッフに対して該当者をベンチから退場させるように注意する。

この場合、ペナルティ（ベンチマイナー）は科せられない。

19) 2P・3P開始時は、ファーストセットのみ、氷上に上がる。

20) ゲームウイニング・ショットの先行・後攻の選択権は、パックスにおいて決定する。

4. 試合中の傷害

試合中に傷害を負った選手、チームは所定の用紙を持って東京都アイスホッケー連盟に届ける事。

また、試合中に起こった傷害に関して応急処置は行うが、その後は各チーム及び個人の責任とする。観客も同様である。

5. 注意事項

事前の連絡もなく、代表者会議、オフィシャルクリニック、表彰式、試合、オフィシャル当番を遅刻、欠席

棄権した場合、また連盟規約違反をした場合は、学生事業委員会ならびに審議委員会にて協議し、ペナルティを科す。

ランキング	Division	
1	Division I	Group-A (8 大学)
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		Group-B (6 大学)
10		
11		
12		
13		
14		
15	Division II	(6 大学)
16		
17		
18		
19		
20		

ランキング	Division	
21	Division- III (8 大学)	
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29	Division- IV (8 大学)	
30		
31		
32		
33		
34		
35		
36		

ランキング	Division	
37	Division- V (11 大学)	
38		
39		
40		
41		
42		
43		
44		
45		
46		
47		

※平成 30 年度から Division I Group-A の試合方式の変更（変更後は、3 年間試合方式は固定）
予選リーグ戦後、上位 4 チームによる最終順位決定リーグ戦を追加するものとした。